
盟和産業株式会社

2025年3月期第2四半期 決算説明会資料

2024年11月29日



- I 第2四半期決算レビュー**
- II 通期業績見通しおよび
重点課題の取組み**
- III 株主還元**
- IV (ご参考) 売上高の内訳等**

I 第2四半期決算レビュー

決算の主なポイント

◆ **連結営業利益・経常利益で黒字回復**

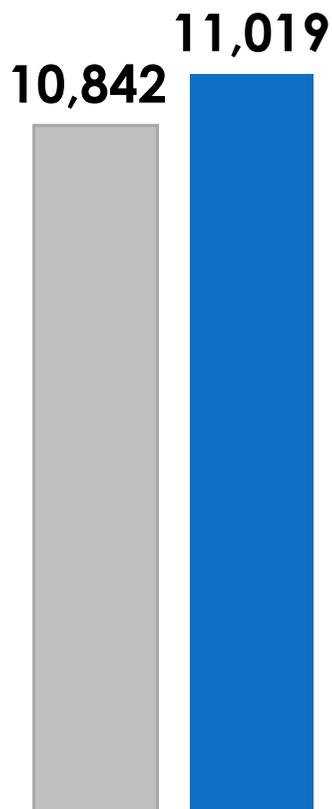
◆ **国内：価格転嫁・原価低減進む**

◆ **海外：下期に収益改善効果を見込む**

連結業績の概要

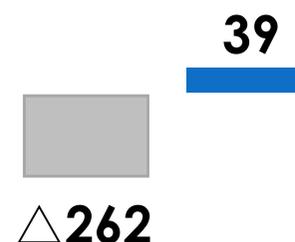
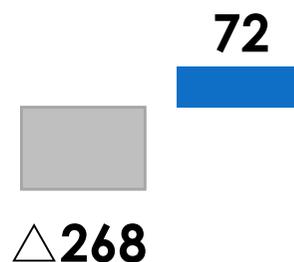
(百万円)

■ 2024/3期2Q
■ 2025/3期2Q



為替変動影響 + 300

原材料・エネルギー価格や労務費等の転嫁
原価低減の効果等



親会社株主に帰属する
中間純利益

売上高

営業利益

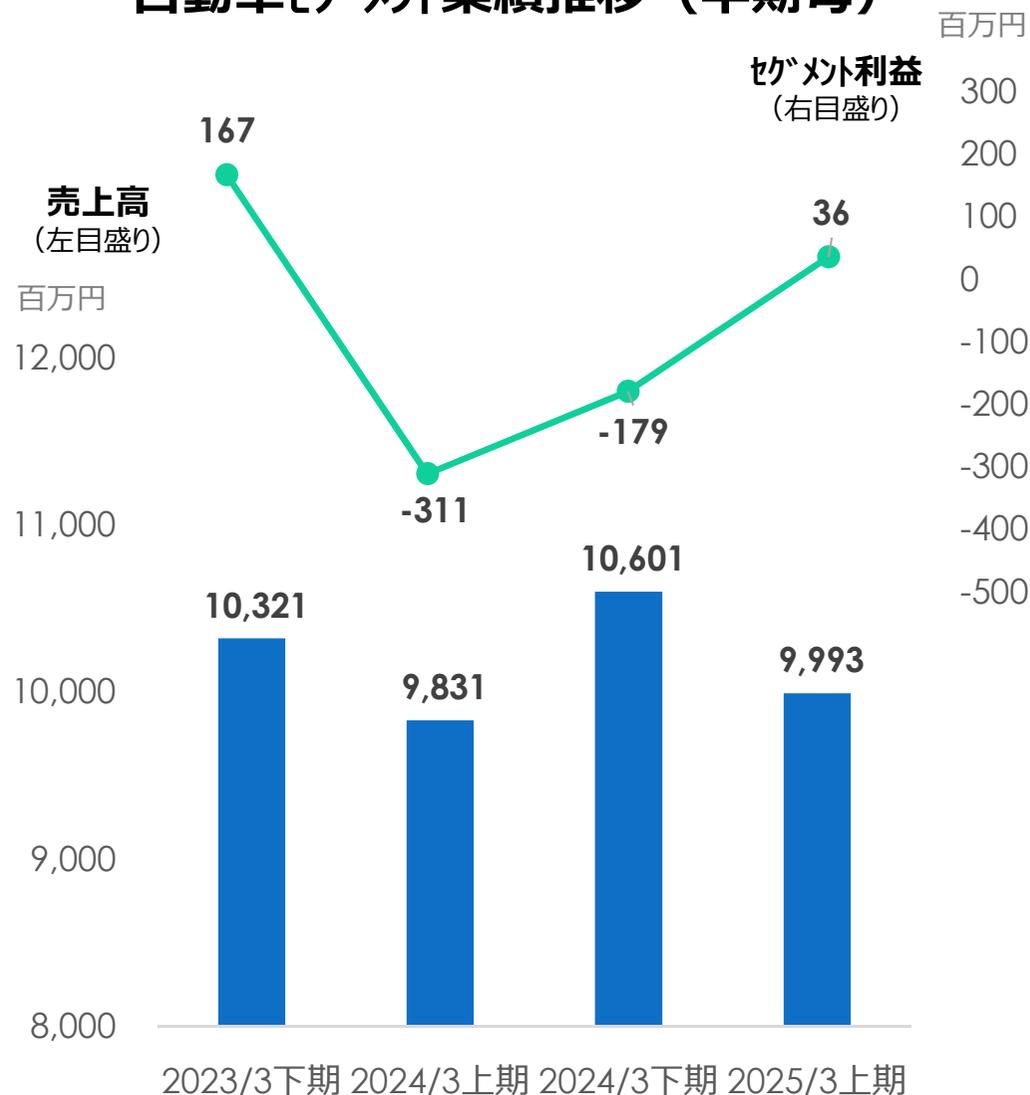
経常利益

自動車セグメント業績

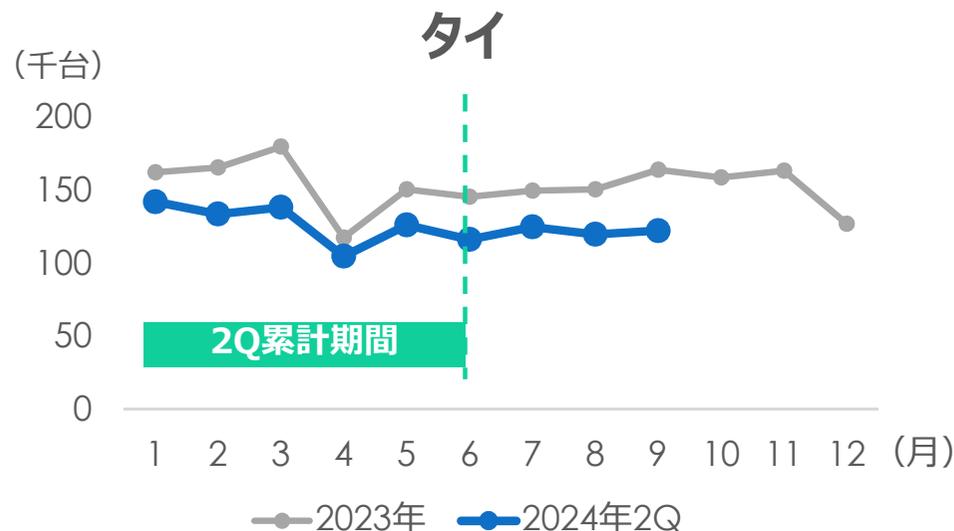
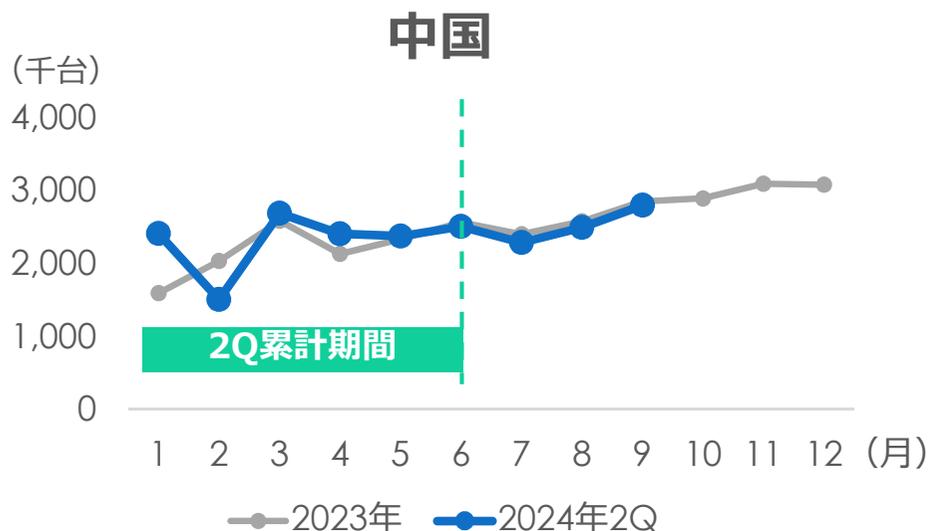
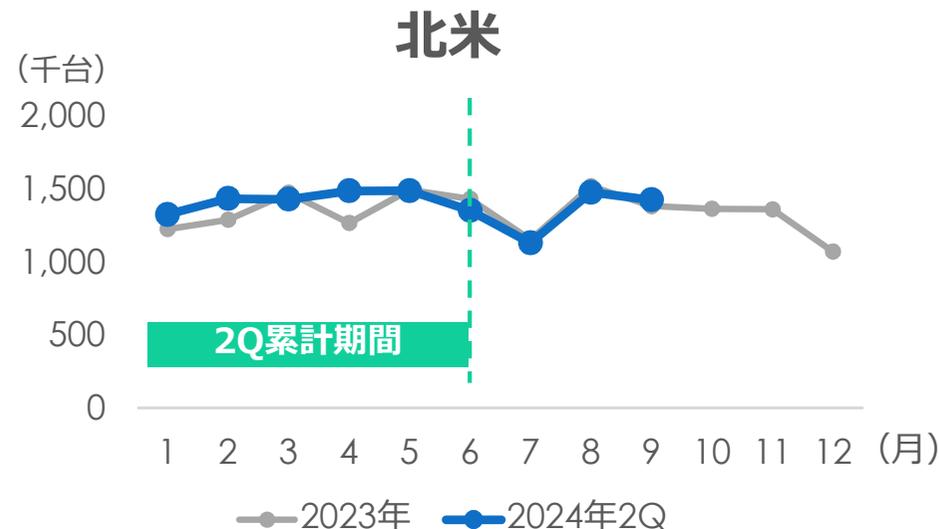
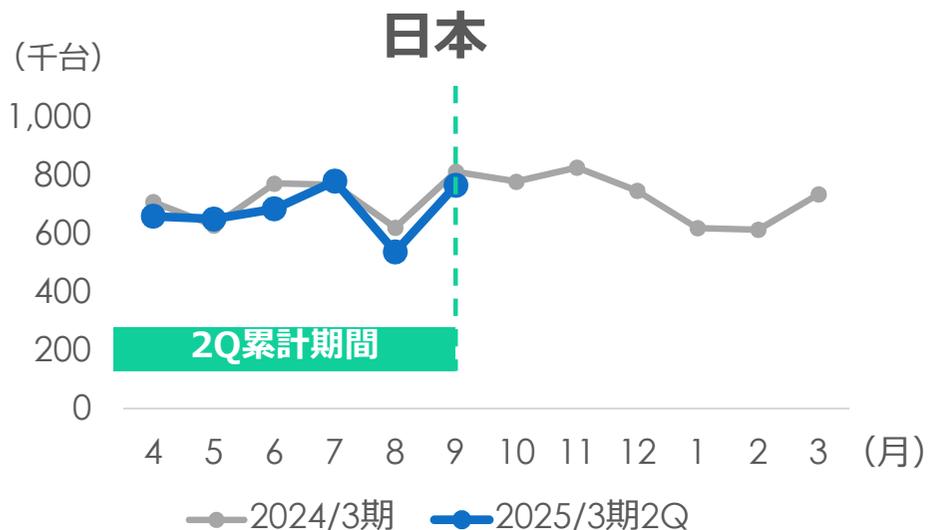
◆前年同期比増収
為替変動影響もあり
海外売上を押し上げ

◆セグメント利益黒字化

自動車セグメント業績推移（半期毎）



自動車生産台数推移 (月別)

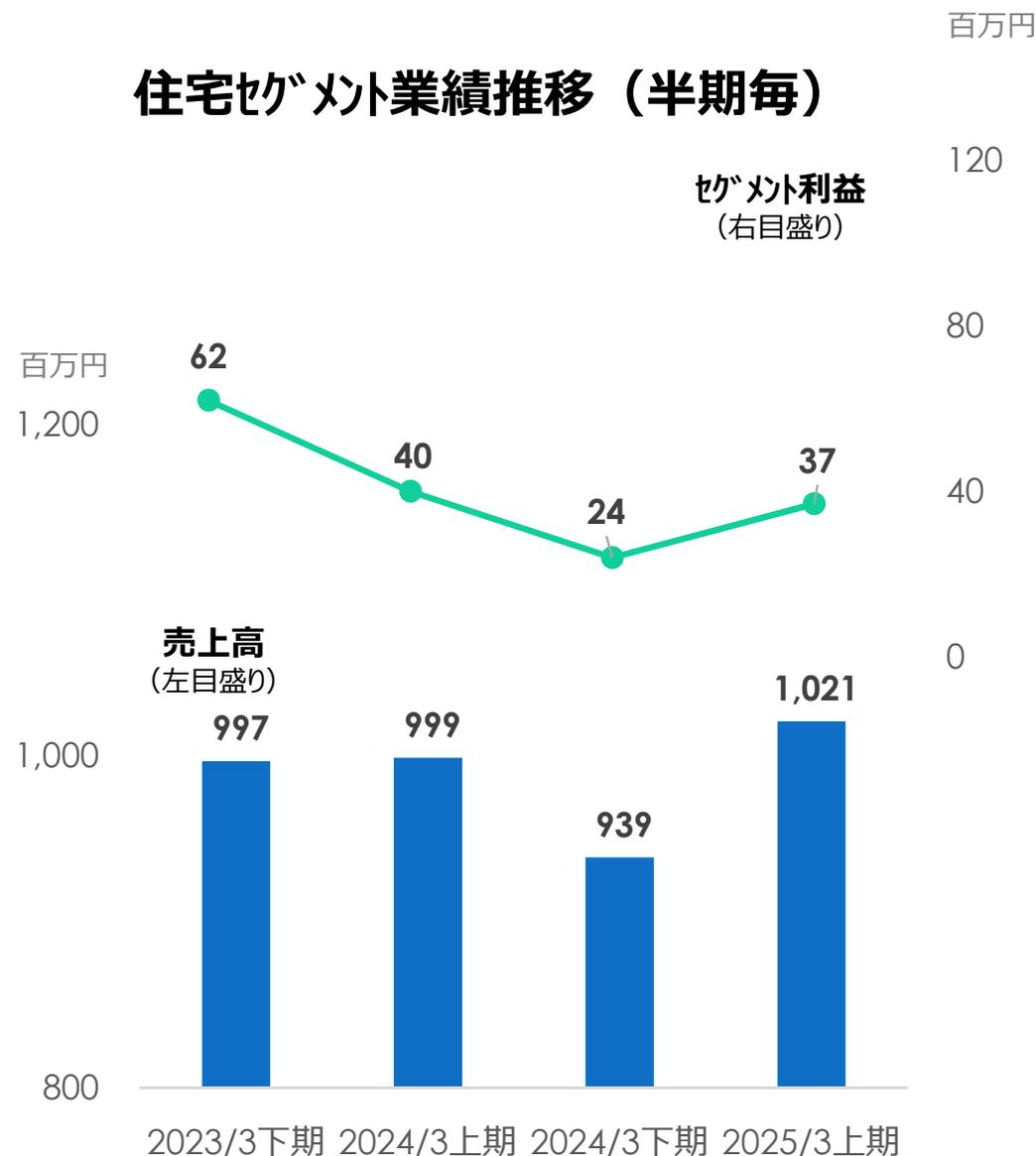


住宅セグメント業績

◆ **住設資材堅調**
住宅設備資材中心に
堅調に推移

◆ **受注増加**
セグメント利益確保

住宅セグメント業績推移（半期毎）

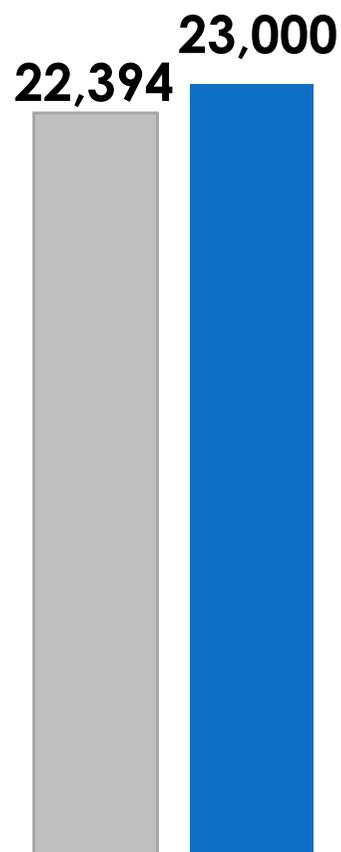


Ⅱ 通期業績見通しおよび 重点課題の取組み

通期業績見通し

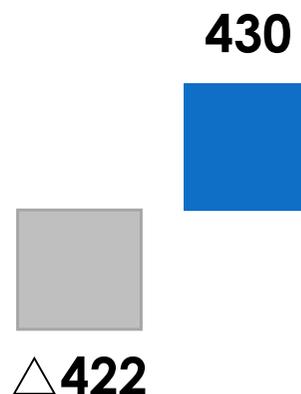
(百万円)

■ 2024/3期実績
■ 2025/3期予想

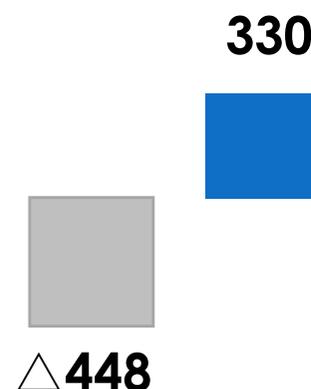


売上高

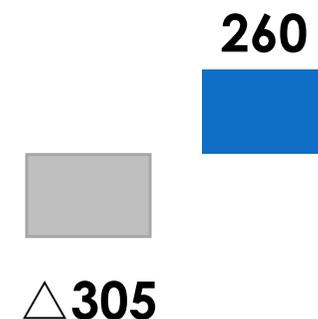
5月14日公表の通期業績予想値の修正無し



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益

海外子会社（中国・米国）の収益改善状況

◆ 中国

- 中国子会社の事業構造改善を計画通り実施
 - 日系OEMの販売減少
受注品の量産日程変更等
- ▶ 収益改善に注力

◆ 米国

- 前期の不採算取引終了
- 原材料・労務費等の価格転嫁反映は下期

中期経営計画MWX2030

- 期間 2025年3月期～2031年3月期（7年間）
- 数値目標 売上高270億円/当期純利益9億円/ROE8%以上
- 3段階のステージ

MWX2030



新中期経営計画MWX2030の重点課題

	項目	取組内容（例）	
収益力強化	取引採算の改善	販売価格の適正化、低採算取引見直し	
	一貫生産体制強化	購入部品の内製化等	
	製造・管理の効率化	省人化・省エネルギー設備導入、DX活用	1
	原価改善	グループ全体での買い方、作り方、運び方改善	
成長戦略	新分野開拓	保有技術を活かした関連分野の開拓	
	循環型の物造り	CE（サキュラーエコノミー）への対応	
	既存分野拡販	新製品受注、取引シェア拡大、非日系顧客開拓	
ESG経営	カーボン・ニュートラル推進	2030年までにCO2排出量2013年度比半減	2
	人的資本の拡充	層別人員体制確保、海外拠点技術者の現地化	3
	資本コストや株価を意識した経営	株主価値の向上、ROE・PBR等指標改善	

① 省人化設備導入 開発テーマ（例）より

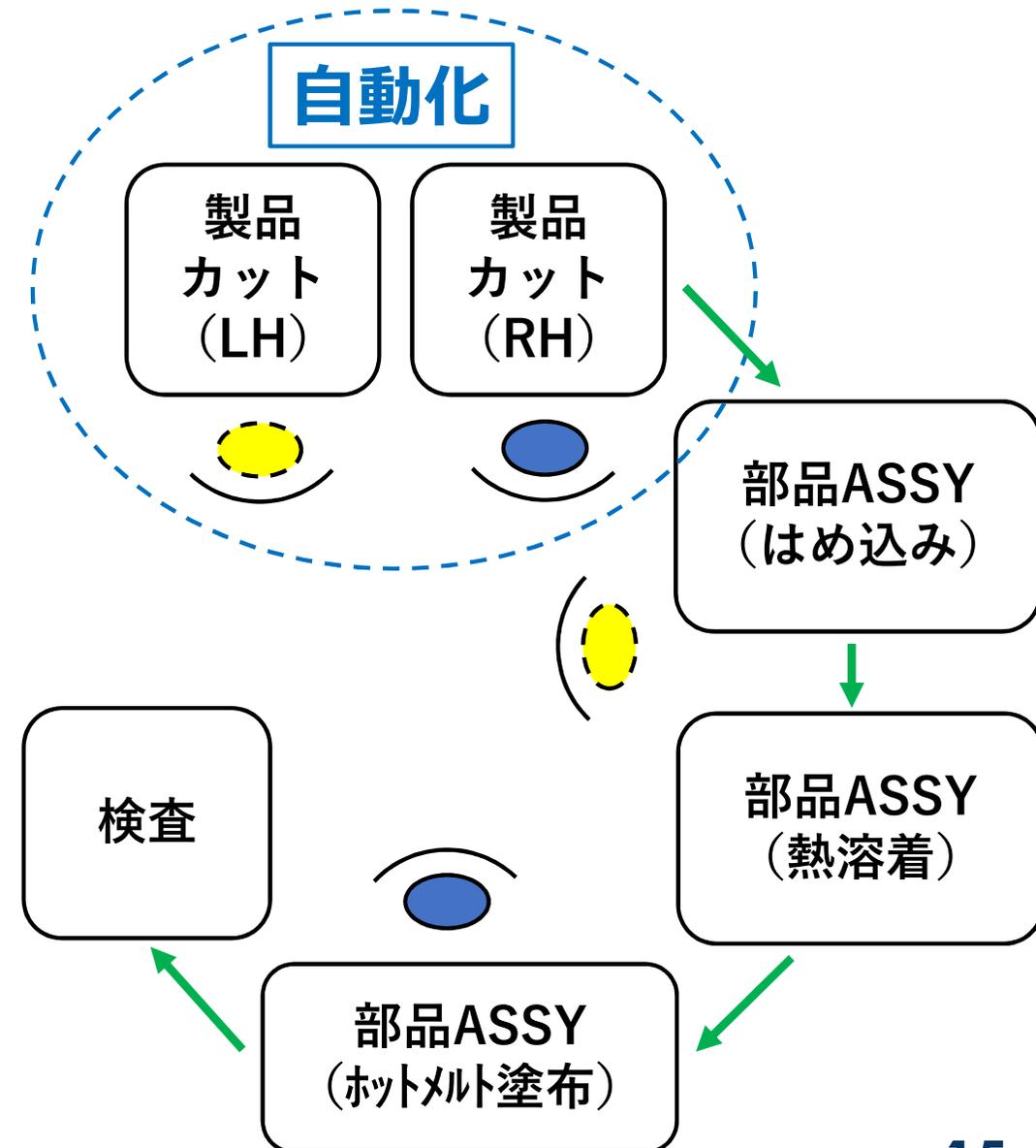
NO	分野	開発テーマ		期待する効果	SDGsとの関連
1	自動車 内装部品	CE（サーキュラーエコノミー）対応製品	CN	資源循環	1 2、1 3
2		ガラス繊維強化 PPハニカム構造体	CN	資源循環	1 2、1 3
3		デッキボードの競争力強化		コスト競争力	1 2、1 3
4		現有設備を用いた新用途開発		収益拡大	1 2、1 3
5		社内端材リサイクル製品	CN	資源循環	1 2、1 3
6	生産工法	シートバック芯材 端末加工設備		省人化	9
7		ラゲージボード 新生産設備	CN	省エネ	7、1 2
8		新超音波カット設備及び溶着設備	CN	省人化	7、9、1 2

■ 研究開発費（技術者の人件費等を含む） 2024年3月期 4.3億円



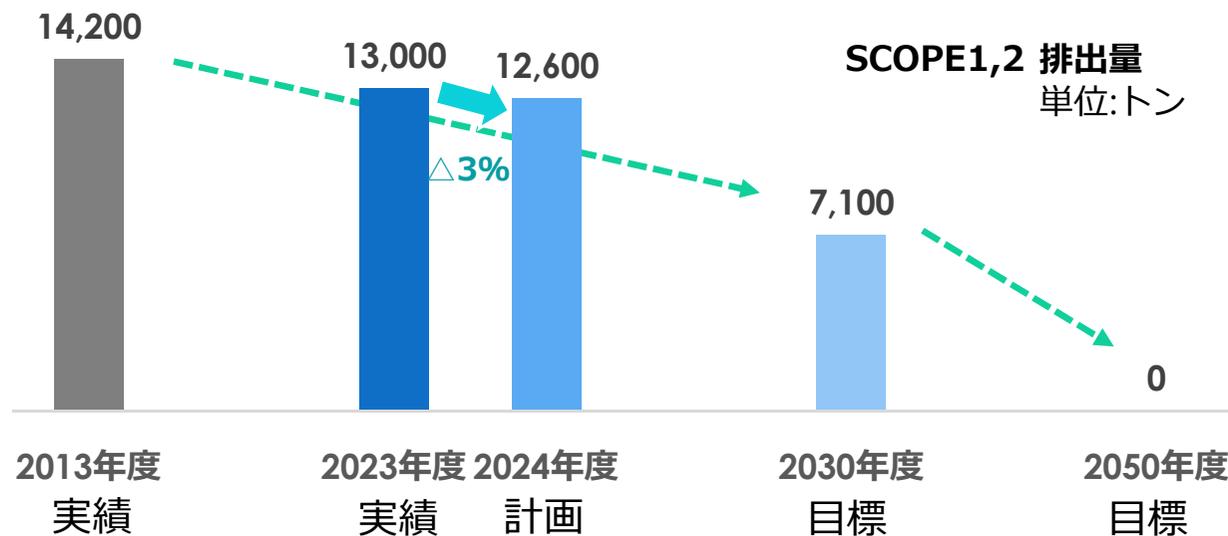
① 自動化・省人化設備導入例

➤ **超音波カット設備**
カット工程を自動化、
2個同時加工
従来比作業員2名削減



② カーボン・ニュートラル推進

- ◆ **目標** 2050年カーボンニュートラル達成
2030年度までにCO2排出量2013年度比半減



2024年度排出量
計画 12,600 t
前年比 3%削減

- ◆ **取組** 省エネルギー活動
(電力使用効率化・平準化、LED化等)
高効率機器への設備更新

3 海外拠点技術者の現地化



◆ 技術者の現地化

中国子会社から
技術系人材を出向者
として受け入れ

日本で育成し帰国

海外拠点の技術者を
現地化

他の海外子会社にも
段階的に展開

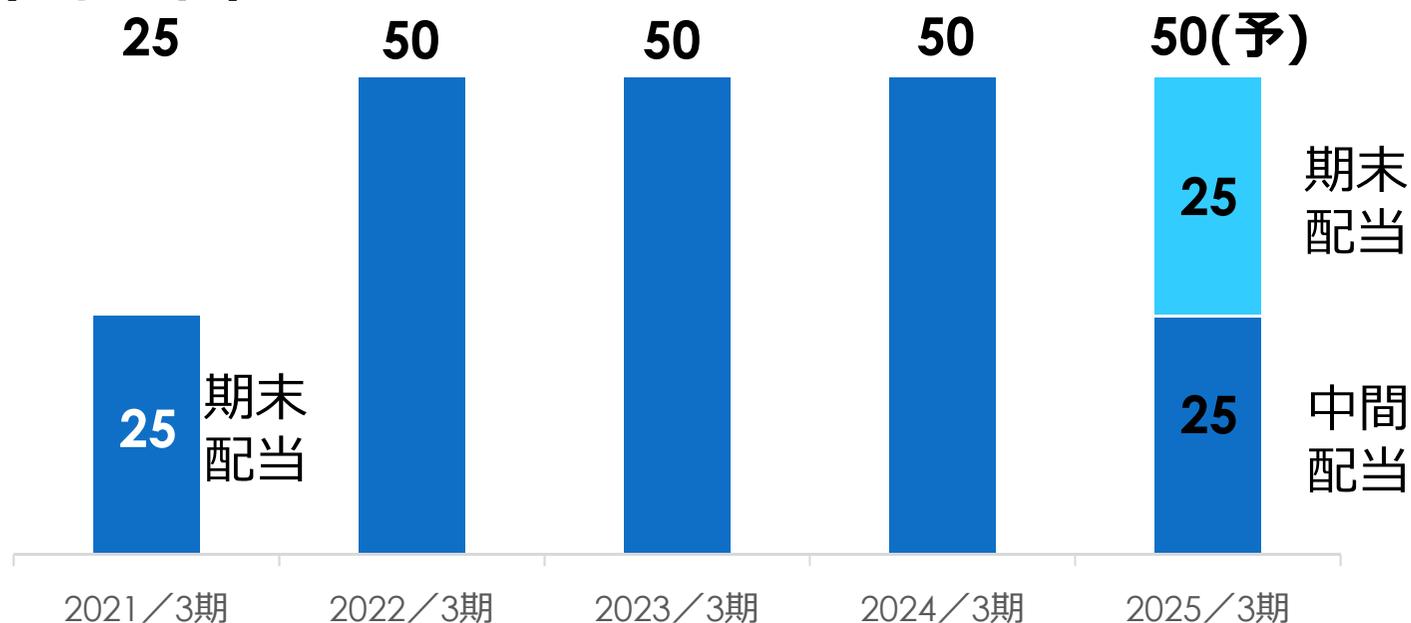
Ⅲ 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

一株当たり配当金の推移

(単位：円)



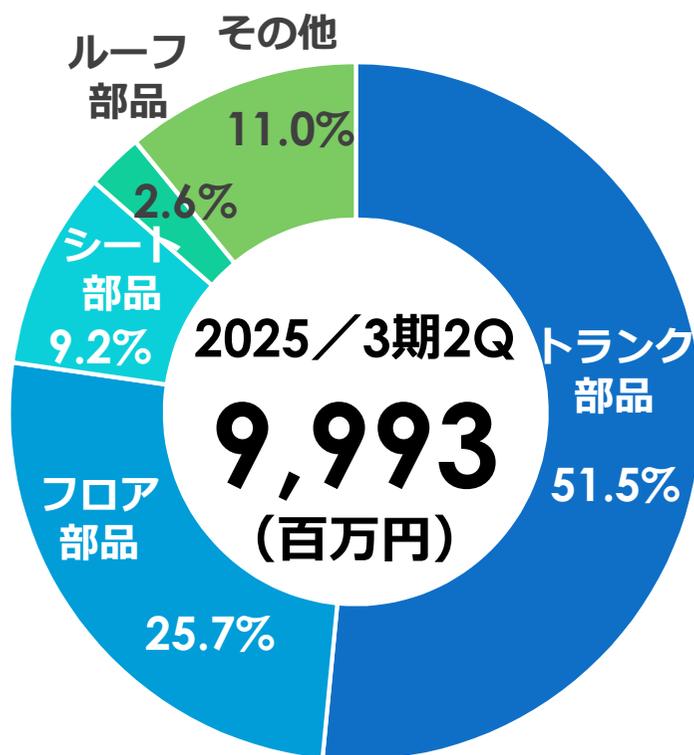
- 2025年3月期は中間配当25円を実施
- 期末配当25円、年間配当50円を見込む

IV (ご参考) 売上高の内訳等

自動車部品の部位別売上高

売上構成はトランク部品が約 5 割

自動車部品売上高

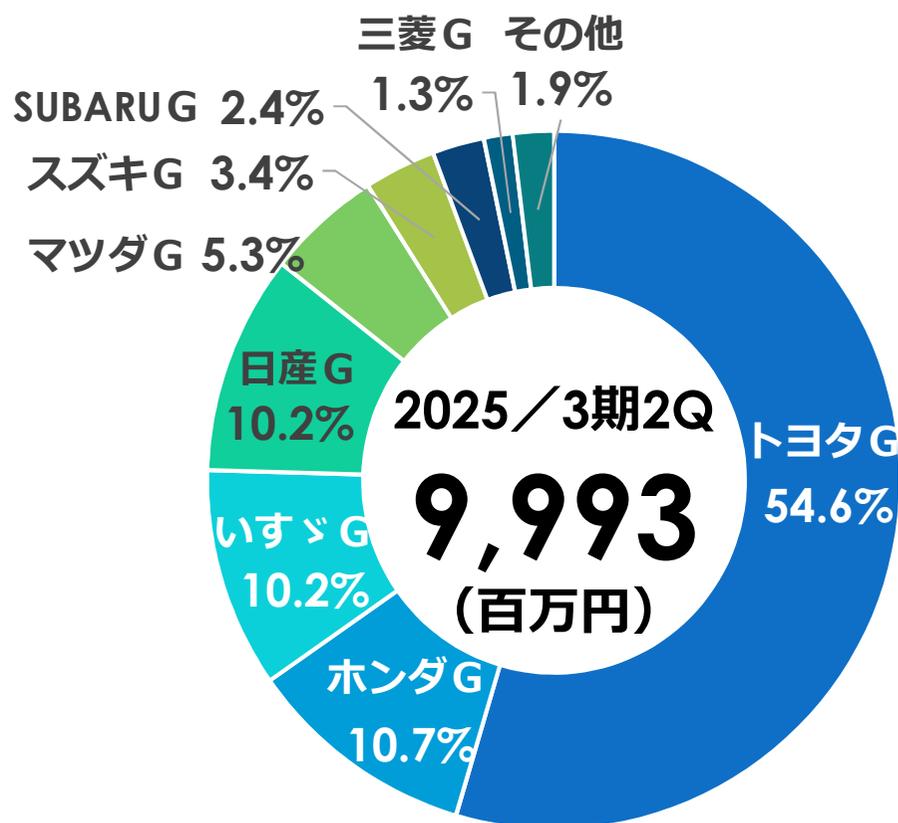


	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	5,150	51.5
■ フロア部品	2,569	25.7
■ シート部品	915	9.2
■ ルーフ部品	263	2.6
■ その他	1,094	11.0

自動車部品のメーカー別売上高

トヨタグループ向けが約 5 割

自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	5,453	54.6
■ ホンダG	1,071	10.7
■ いすゞG	1,017	10.2
■ 日産G	1,015	10.2
■ マツダG	533	5.3
■ スズキG	335	3.4
■ SUBARUG	240	2.4
■ 三菱G	134	1.3
■ その他	190	1.9

バランスシートの概要

(百万円)

資産合計
24,765



2024/3月末

資産合計
25,090



2024/9月末

流動資産 △ 13

現金及び預金 △ 845
売上債権 + 379
商品及び製品 + 146
原材料及び貯蔵品 + 270

固定資産 + 338

有形固定資産 + 344

負債純資産合計
24,765



2024/3月末

負債純資産合計
25,090



2024/9月末

流動負債 △ 552

短期借入金 + 182
1年内返済予定
長期借入金 △ 394

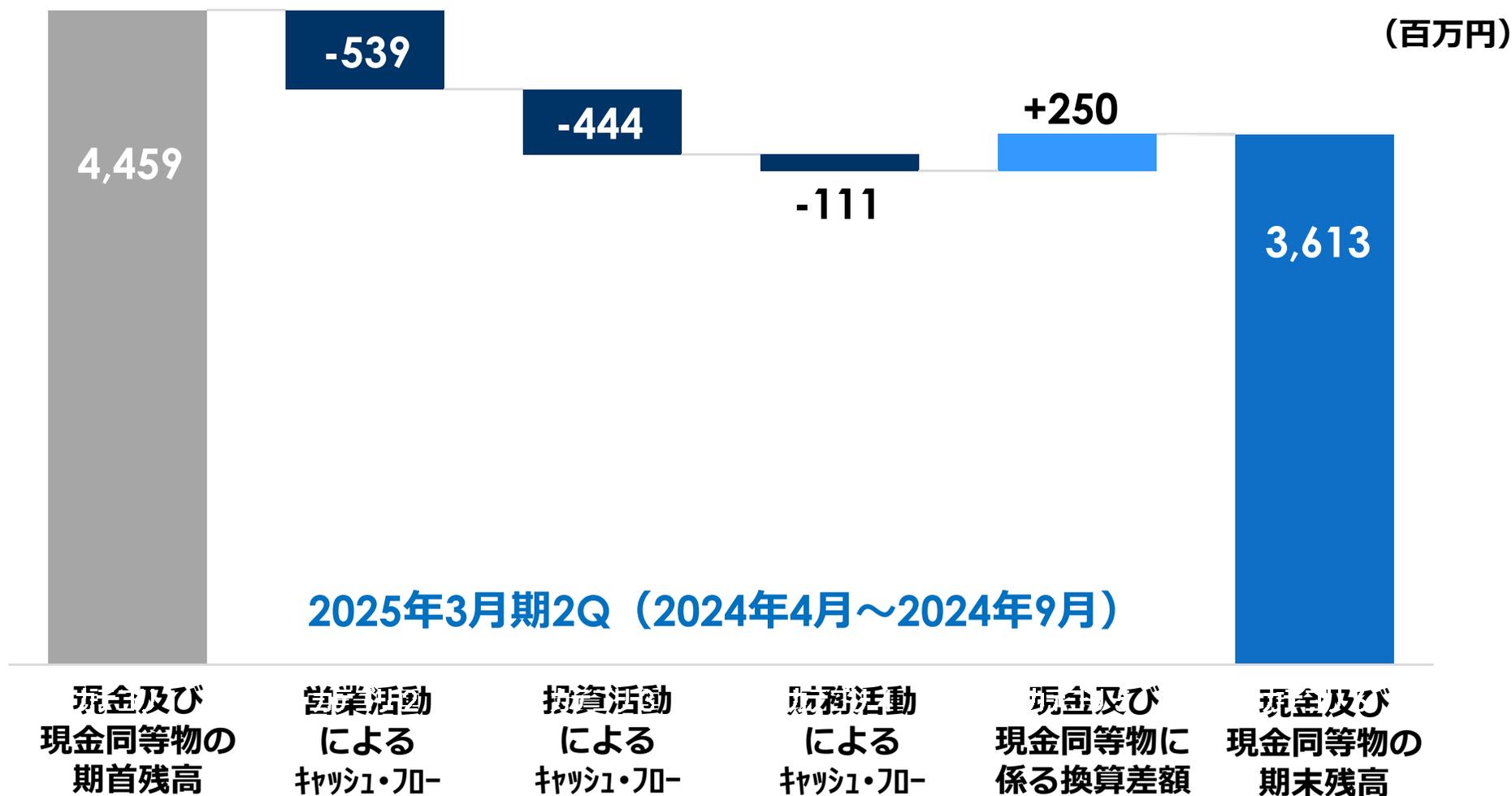
固定負債 + 134

長期借入金 + 260

純資産 + 743

為替換算調整勘定 + 904

キャッシュフロー計算書の概要



本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

